

千葉県 船橋市

千葉県船橋市 地域包括支援センター

総面積：85.62 km²

人口：63万2,343人
男 31万6,934人 女 31万5,409人

65歳以上：14万8,203人

高齢化率：23.4%

(2017年4月1日 現在)

執筆：船橋市健康・高齢部包括支援課 課長補佐 篠原秀明

多様な地域資源が連携 「認知症の人にやさしい船橋」実現へ

船橋市は人口63万人を超える中核市最大の都市です。東京から20km圏内に位置し、都市と自然が調和した暮らしやすいまちです。

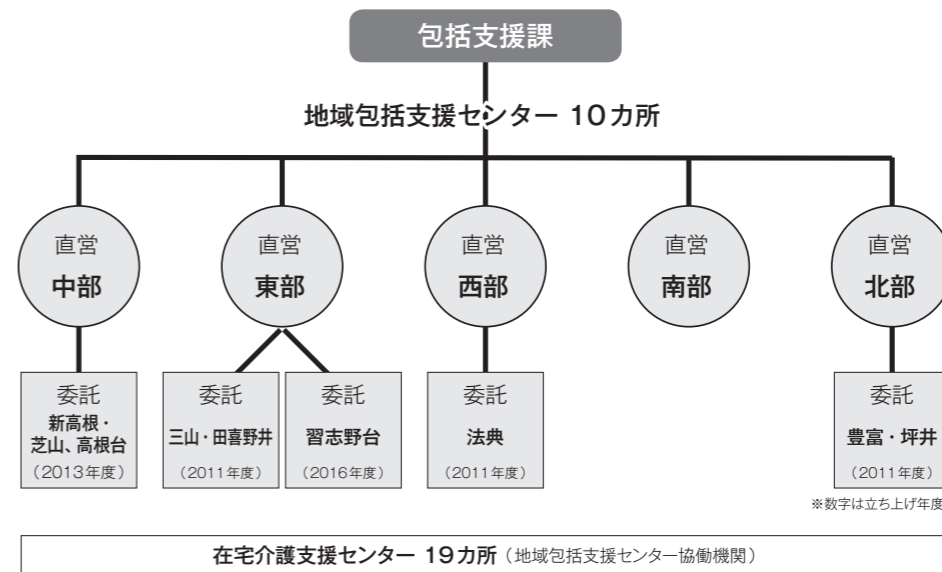
高齢者人口は14万8,203人、高齢化率は23.4%となっています。2025年には他市にもれず高齢者全体の人口が増加し、高齢化率は24.2%に、また高齢者のうち75歳以上の人が占める割合は約61%になると予想されています。

本稿では、「認知症の人にやさしい船橋」の実現に向けて、地域包括支援センターと関係機関の連携、現在取り組んでいる施策を紹介します。

戦略的に直営・委託包括と在支を設置

船橋市では2006年4月、市内を5つのブロック(日常生活圏域)に分け、直営の地域包括支援センターを5カ所設置しました(中部・東部・西部・南部・北部)。さらに配置整備計画に基づき、2011年4月に3カ所、2013年4月に1カ所、2016年4月に1カ所、直営包括が担当する圏域の一部を分割する形で、委託型の地域包括を増設。現在、直営5カ所、委託5カ所の合計10カ所の地域包括を設置しています(図)。

図 船橋市地域包括支援センターの組織体制



また、地域包括の協働機関(個別支援を一緒に行う)として、在宅介護支援センターも設置しています。2002年度より市内24地区コミュニティ単位で設置し、地域の事業所が身近な相談窓口としての役割を担ってきました。2011年4月には、直営の地域包括エリアを中心に再編成し、市民の利便性等を考慮し、駅近のビルなど計19カ所に設置しています。

再編にあたって特筆すべきことは、2015年度までに、各在支に専従・常勤職員を1名ずつ配置した点です。地域包括の機能強化の一環でもあり、地域包括と一体となって活動できる体制を目指したものです。これにより、直営の地域包括を基幹型とし、委

託の地域包括と合わせて、在支を地域包括の出先機関(身近な相談窓口)として、より明確に位置づけることができました。

認知症施策を推進する 主な取り組み

1. 地域の関係機関との連携

① 医師会主導でネットワーク構築
認知症については、早期発見・早期受診が重要だと言われていますが、実際には本人や家族が

病状認識できないなど、認知症の人を医療につなげることは難しいのが現状です。

そのため、認知症サポート医を中心として、医療機関や訪問看護ステーション、ケアマネジャー、小規模多機能型居宅介護など介護保険サービス事業所、地域包括、在支とが連携し、支えていく仕組みが必要です。

そのようなことを研究・検討する場として、2009年度に船橋市医師会を中心に「船橋市認知症ネットワーク研究会」が発足しました。同会のご尽力により、現在船橋市認知症協力医療機関名簿が作成され、毎年度更新をしています。